

5.15 沖縄平和行進参加報告書

全港湾 東北地方ひたち支部青年女性部

部長 志賀 翔太

5.15 沖縄平和行進に参加して、実際に自分の目で見て、歩いて、感じることで、ニュースや写真だけではわからないことをたくさん学びました。

行進中には、右翼の人たちに動画を撮られながら話しかけられる場面があり、とても怖かったです。自分たちは平和について考えながら歩いているのに、強い口調で話しかけると緊張してしまい、改めて平和について考える活動にもいろいろな意見があることを知りました。また、自分はレンジャーを担当しました。車のすぐ近くで行進を支える中で、事故の危険や周りを見ながら動く大変さを肌で感じました。その中でも、他の単組より3単産のまとまりや行動がしっかりしていて、声を掛け合いながら安全に行進していたことが印象に残りました。そして、資料館を見学した時は、とても複雑で悲しい気持ちになりました。戦争で多くの人が苦しみ、命を失ったことを知り、「平和は当たり前じゃないんだ」と強く感じました。文字や写真だけでも苦しかったのに、実際にその場所で見ると胸が重くなりました。

今回の平和行進を通して、平和について考えることの大切さや、過去の出来事を忘れてはいけないことを学びました。これからも、自分にできることを考えていきたいです。